

令和5年度 ネットパトロールの実施状況等について

1 趣旨

インターネット上のいじめや誹謗中傷、犯罪被害から児童生徒を守るため、早期発見・早期対応の観点から、SNSへの不適切な書き込み等について検索、監視等を行う。

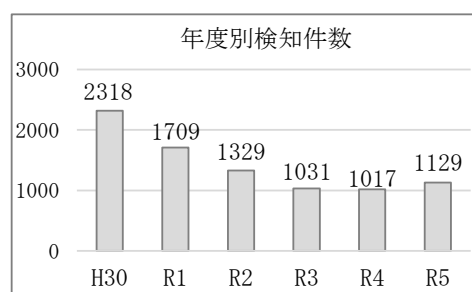
2 対象校

県内全ての公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校 計596校

3 調査結果

①校種別の検知件数

	対象校数	検知校数	検知件数	%
小学校	365	29	32	2.8
中学校	153	105	506	44.8
高等学校	63	59	588	52.1
特別支援学校	15	3	3	0.3
合計	596	196	1,129	



※中学校には、義務教育学校及び中等教育学校を含む（以下同じ）。

②内容別の検知件数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計	
					件数	%
いじめ・中傷	0	30	68	0	98	8.7
不法行為	0	5	8	0	13	1.2
トラブル	0	0	24	0	24	2.1
個人情報の流布	0	258	248	0	506	44.8
その他	32	213	240	3	488	43.2
合計	32	506	588	3	1,129	

◇いじめ・中傷：児童生徒、教職員、親など他人に対する悪口や中傷等

◇不法行為：飲酒、喫煙等の違法行為や著作権侵害の可能性のある画像等の投稿等

◇トラブル：自殺願望、自傷行為や家出・家出受け入れ等

◇その他：学校に関する話題（悪評）、校則違反や不法ではないが不適切な行為・行動等、著作権・肖像権等に抵触する可能性のある投稿

4 不適切な事例とその対応

※リスクレベル（ ）は令和5年度の件数

「高」・・・犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事案で緊急性の高いもの（0件）

「中」・・・緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましいもの（62件）

「低」・・・緊急性はないが、必要に応じて適切な指導対応が望ましいもの（1,067件）

<いじめ・中傷の事例>（中レベル）

- （事例）
- ・ 片方の腕を相手の首に回し、もう片方の手で握り拳を作っている人物の姿が映っている画像が使用された動画の投稿（中学生）
 - ・ 「後輩からいじめ受けました。」、「髪びしょびしょや（笑）冷たくて気持ちよかった」と記載された、体操服姿の人物が頭に氷をかけられている様子が映っている動画を投稿（高校生）

（対応）投稿した生徒の在籍校や所管の市町村教育委員会に情報提供し、投稿者を特定した場合は当該生徒から事情を確認し指導、特定できない場合は全体への指導を行った。

<不法行為の事例> (中レベル)

- (事例) ・ 漫画やアニメを撮影した画像・動画を投稿したことにより、著作権を侵害している可能性があるもの (中学生)
- ・ 公道で電動キックボードの2人乗りをしている様子を投稿したもの (中学生)

(対応) 投稿した生徒の在籍校や所管の市町村教育委員会に情報提供し、投稿者を特定した場合は当該生徒から事情を確認し指導、特定できない場合は全体への指導を行った。

<トラブルの事例> (中レベル)

- (事例) ・ 「生きることをやめてしまいたい」、「殺してくれ」等この世を悲観したり、命を大切にしない言葉を書いたりしている画像を投稿したもの (高校生)

(対応) 投稿した生徒の在籍校に情報提供を行い、引き続き、見守りや声かけ、教育相談を行い対応した。

<その他の事例> (低レベル)

- (事例) ・ 「この学校の生徒にチャリでぶつかられたが何も言わず立ち止まりもせず、走り去っていったろくでもない学校」等、学校に対する悪評 (高校生、中学生)
- ・ 「ユーザー名、学校、学年、部活動」等、個人を特定することができる情報を投稿 (中学生)

5 情報モラルの向上に向けた取組状況 (政令指定都市である岡山市を除く)

- ・ 中核教員の養成研修を経た教員を中心に、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育を実施している。
- ・ 校内研修のプレゼン用資料を各学校に提供し、各学校において、個別事案への対処法も含めた指導を実施している。
- ・ ネットの適正利用や、学習及び日常生活における有効活用等について、スマホサミットを実施し、児童生徒の主体的な取組を推進するとともに、その取組を全県に普及することで、各学校における生徒会等を中心とした取組を支援している。
- ・ P T A研修等で、家庭のルールづくりに関する参加型ワークショップ (利用時間制限やアプリ制限等のペアレンタルコントロール設定等) を実施している。
- ・ 既存の啓発チラシに加え、昨年度新たに作成した「今こそ見直そう！わが家のスマホ・ネットルール」や「スマホ・ネット利用をセルフモニタリングしてみよう！！」を入学説明会や保護者面談等で活用し、直接周知することで、家庭のルールや自分のルールを見直すきっかけを作り、一層の充実を図っている。
- ・ 警察と連携した「非行防止教室」により、SNS等による犯罪被害やいじめ等の実例を交えた授業を推進している。